

車両規則

下記レギュレーションに記載されていない事項は、原則不可となります。拡大解釈の無いようご注意ください。
不明な部分は、お問い合わせください。

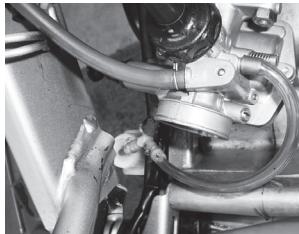
全クラス共通車両規則

- 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートは取り外すこと。ライト、ウィンカー、テールランプは取り外すか、テープで飛散防止すること。
- エンジン・ミッション・ブレーキオイル及び冷却水等油脂類は変更可。
- ラジエーターに不凍液が入っている場合は水に取り替えること。
- ラジエーター装着車は、容量100cc以上のリザーバータンクまたはキャッチタンクを取り付けること。サーモスタットは取り外し可。
- キャブレターホース類に容量100cc以上の耐油性のある透明または半透明の燃料キャッチタンクを取り付けること。
- 4スト車両はオイルキャッチタンクを必ず取り付け可。
※エアクリナーボックスがオイルキャッチタンクの機能を兼ねている車両はその限りではない。
※フリーザーホースは大気開放せずキャブ吸入口の一番低い個所の水平線よりも上部に取り付けること。
- 燃料キャッチタンク・オイルキャッチタンクは必ず空にしておくこと。
- 4スト車両は、全オイル量が受けられる容量のアンダーカウルの装着を義務付ける(スクーターは除く)。
- 各部品が溶接またはボルト・ナット等で、確実に正しく取り付けられていること。
- オイルフィルターキャップ、オイルドレンボルト、オイルフィルター(スピコン式)にはステンレスワイヤーを用い、ネジの締まる方向に引っ張り、フレーム等に固定し、ワイヤーロックを施すこと。
- パイプ、ホース類はクリップ止め等の簡易なものでは確実に耐れない方式に交換すること。また使用するホースは、耐熱・耐油性を満たした物で、漏れないように確実に固定すること。
- 前後各ホイールに効果的なブレーキがなくてはならない。
- 著しく尖った部分や鋭利な部分がないこと。レバー、ステップ、ペダル、ハンドルの先端は丸みを帯びた形状であること。
- ハンドルのバーエンドキャップは必ず取り付け可(ジュラルコン製が望ましい)。
- ハンドルは、左右一杯に切った状態で、ライダーの指を挟むことがない程度の隙間があること。
- 走行中に路面等に接触するステップ、突起物等は取り除くか、加工(切断、研磨)等すること。
- ミッション車はスイングアーム下側にリアスプロケットガードを必ず取り付け可。
- チェーンカバーは材質・形状の変更可。
チェーン駆動車はフロント、リアスプロケットの両方にチェーンカバーを装着すること。但し、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合に限り取り外し可。
- 安全上問題のないカウル類の変更・取り外し可。それに伴う不要ステー類の切除も可。FN車両は市販時のシルエットを保持しては変更可。※但し、各部分が危険な形状にならないこと。
- 排気音の極端に大きいものは不可(主催者判断)。
- スロットルワイヤー変更可。
※但し、SN50/FN4はスロットル変更不可(ハイスロ不可)。
- セルモーターの取り外し可。
- オーバーサイズピストンの使用は不可(但し、OPは除く)。
- シリンダーヘッド・ガスケット等は同年式の組み合わせ以外は変更不可(但し、OPは除く)。
- ホイールカラーの変更及びダストシール・メーターギアの取り外し可。
- 同一形式以外でのエンジン・フレームの交換は不可(OPは除く)。※但し、NSR mini⇔NSR50、NS50⇔NS50Fは可。
- 燃料は無鉛ガソリンとし、通常のガソリンスタンドで購入出来るものに限り。その他一切の燃料添加剤・添加物の使用は禁止。
- タイヤウォーマーの使用は可。※但し、サーキットの電源の使用禁止。安全に整備された発電機を使用する事。
- ルーキー・ジェネレーション・M-1・M-2・M-3・CBR Dream Cupビギナークラスはラップタイム自動計測器やストップウォッチ等、決勝中のタイム表示機能機器の使用は不可。
- メーカー純正部品の廃番により、同メーカー他車種の純正部品を無加工で装着出来、且つ性能向上にならない純正部品の流用可。
- メーカー純正部品の廃番による社外部品の純正補修パーツの装着は無加工で取付け出来、性能向上にならないパーツの使用は可。但し必ず事前に使用パーツを申告する事。但し、ブレーキ関連パーツ(キャリパー・マスターシリンダー・ディスク)の社外部品の使用は原則認めない。

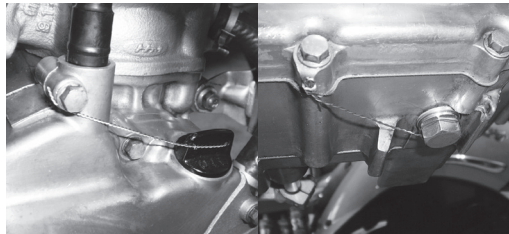
その他、車検長が、危険または著しく不正と判断した車両は、出走停止・不合格・改善指示の判断をする。その決定に対して、異議を申し立てすることは認められない。



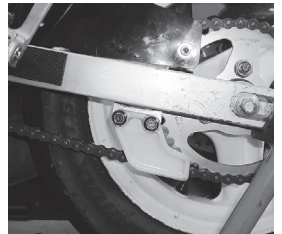
燃料キャッチタンク



燃料キャッチタンクのパイピング



ワイヤーロック



リアスプロケットガード

クラス別車両規則

M-3 M-2 M-1 M-GPクラス (M系4クラス共通)

参加可能車両

2スト排気量50cc未満のミッション付車両

(KSR80は可)

4スト排気量100cc未満のミッション付車両

(GROM※HRC車両含む・Z125Pro・KSR110等は可)

ホイール径12インチ以上

(各車両市販時の純正サイズを使用)

◆NSF100HRCトロフィーと同一車両でダブルエントリーの車両は、NSF100HRCトロフィーのレギュレーションに従い参加してください。

◆HRCグロムカップと同一車両でダブルエントリーの車両は、HRCグロムカップのレギュレーションに従い参加してください。

■特別仕様車

APE100及びXR100MiにCRF100マフラー使用の車両の参戦を認めます。

※上記マフラー使用する車両のみ、NSF100及びCRF100の純正(22パイ)キャブレターの使用を認めます。その場合、CRF100のインテークマニホールドを使用できます。

■エンジン関係

×改造・変更・研磨一切不可。ノーマルとする。

○サービスマニュアルに記載されているエンジン整備は可。

※4スト車両のバルブのすり合わせやシートカット等。

○メインキーはキルスイッチがあれば取り外し可。

○キャブレター・ジェット類・スパークプラグ・プラグキャップ・プラグコード変更可。

×イグニッションコイルは変更不可。

※但し、NSF100を除く4スト車両は変更可。

○エアファンネル等の取り付けは可。

○リミッターカット及びCDIユニット及び電装ハーネス変更可。

×内圧コントローラーの取り付けは不可。

○クラッチスプリングの変更可。

○クラッチプレート及びフリクションディスクの枚数変更可。

それに伴うクラッチセンターの純正部品の流用可。

○クラッチハウジングの段付修正のみやすりかけの処理は可。

○キックペダル及び関連部品の取り外し可。

○インジェクション車両のECUの変更可(サブコン・フルコン可)。

※メーカー純正標準装備以外のオートシフターの使用は不可。

○ハイスロ使用に伴う純正(22パイ)キャブレター・トップキャップの変更可。

○XR100M、APE100/100D、NSF100のエンジンパーツの互換性を認める。

※但し、性能に影響する改造は一切認めない。

○XR100M、APE100/100Dの互換性を認める。

○KSR110はマニュアルクラッチへの変更可。

○KSR110に限り純正と同サイズの前後ホイールの変更を認める。

○エンジン冷却のためのダクトや整流板、ラジエーターカバーの追加変更可。

○Lケースカバーの熱対策のためのワッシャー・カラーの追加は可。

※但し5mm以内とする。

×ガソリンタンクの変更改造は不可。

※但しタンクカバーの使用及び給油口の改造変更は可。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。

○ラジエーターの変更改造可。

※但し、著しく性能向上するものは車検長の判断により不可となることある。